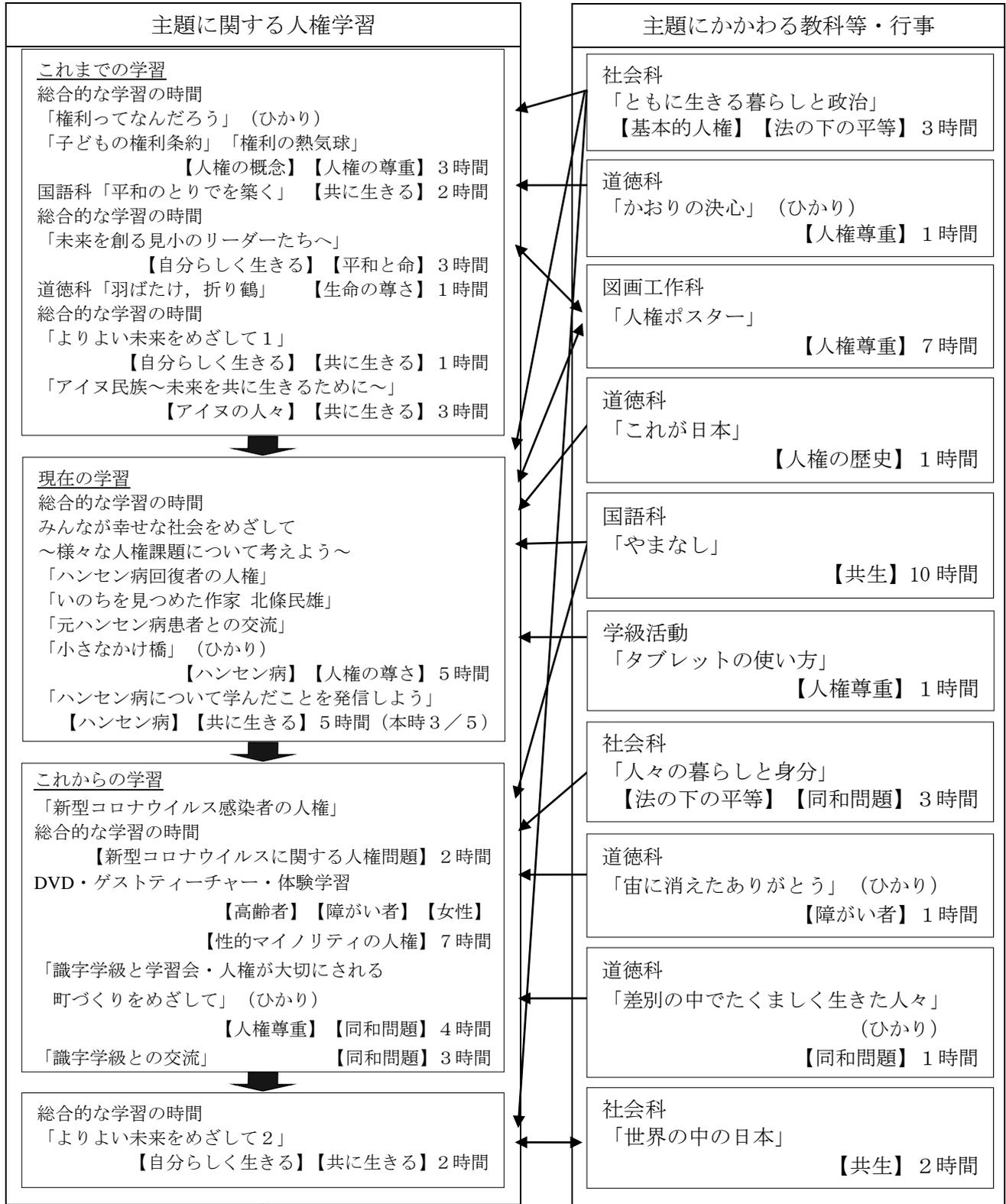


第6学年 総合的な学習の時間（人権）学習指導案

- 1 主 題 みんなが幸せな社会をめざして
- 2 主題設定の理由（省略）
- 3 育てたい資質・能力 ①主体的に考え行動する力
- 4 ねらい

正しい知識を知ろうとしないことや無関心が、社会の偏見や差別につながることを理解させ、自分たちができることを考え、実践していこうとする態度を育てる。

- 5 指導計画 【 】 普遍的な学習のテーマ、個人人権課題名



主 題 を 支 え る 常 時 指 導

<p><u>1分間スピーチ</u> 新聞記事やニュース、自分の興味関心があることについて伝え合うことで表現力を高める。</p>	<p><u>今日のきらっとさん</u> 親切にされてうれしかったことや頑張っていた人を紹介し合い、自他のよさを認め合えるようにする。</p>	<p><u>TRY 実行委員</u> 学年に関わる行事において一人一役を担うことで責任感をもたせ、自己有用感や自尊感情を高める。</p>	<p><u>わくわく班活動</u> 異年齢活動を通し、最高学年としての自覚をもち、率先して活動することで高学年としての自覚と主体的に行動する力を育てる。</p>
---	--	--	--

6 本時の学習

(1) 目 標

人権CMの制作を通して、学んだ内容や当事者の思いや願い、自分たちのメッセージを伝え広めていくことが様々な人権問題の解決につながることに気付き、実践しようとする意欲を高める。

- (2) 普遍的な学習のテーマ 人権の尊さ・共に生きる
個人人権課題名 ハンセン病患者

(3) 展 開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ◆育てたい資質・能力
<p>1 本時の課題をつかむ。 ・前時に視聴した人権CMの内容を振り返る。</p>	<p>○ なぜ人権CMを制作するのかを確認する。 ○ 考えた発信の内容で、本当に自分たちが伝えたい内容が伝わるかを考えさせる。</p>
<p>偏見や差別を解消していくために、 本当に伝えていかなければいけないことは何だろう。</p>	
<p>2 様々な課題の解決に向けて、本当に発信していくべきことは何なのか考え、話し合う。</p>	<p>○ 知識的な内容に留まらず、元ハンセン病患者さんやゲストティーチャーの〇〇さん△△さんの思いや願いを広げていくことが大切であることに気付かせる。 ○ メッセージを受け取る側を意識し、表現が適切であるかどうか、伝えたい内容が焦点化できているかなどを、他の意見も尊重しながら考えさせる。 (発表・ワークシート) ①②</p> <p style="text-align: center;">◆ 主体的に考え行動する力</p>
<p>3 本時の学習を振り返りながら、これからの自分の生活について考える。</p>	<p>○ ハンセン病だけでなく、他の差別や身近な人権問題についてもなくしていこうとする意欲を高める。 (発表・ワークシート) ①</p>

(4) 評 価

- ・学んだ内容や当事者の思いや願いに気付き、自分たちのメッセージを伝え広めることで、人権問題を解決しようとする意欲を高めることができたか。(価値的・態度的側面) ①
- ・メッセージを受け取る側を意識し、表現が適切であるかどうか、伝えたい内容が焦点化できているかなどを他の意見も尊重しながら伝え合うことができたか。(技能的側面) ②